

教材名：分・分・分度器 (ぶん・ぶん・ぶんどき)

ねらい：必要な角度の分だけ教材を足したり引いたりして、角（かく）を作ったり、角度を測ったりすることができる。

情報量を抑えて、角度の大きさ（量感）を捉えやすくする。

期待される効果：角度の量感を捉えやすくなる。

多角形の内角や外角の和を、視覚的に示し理解を促す。

円や円に内接する正多角形の中心角を同一にして等分する課題では、その1つ分の中心角に同じ角度の教材を合わせることで分数で表しやすくなる。

使用方法：素材が軽量で透明性が高いため、教科書等の図の上に重ねながら使用できる。

角度を求める問題では、図の上に教材を重ねて使用し、場合により教材を組み合わせて角度を求める。反対に、指定された角度を作図する場合は、教材を組み合わせながら角度を作る。

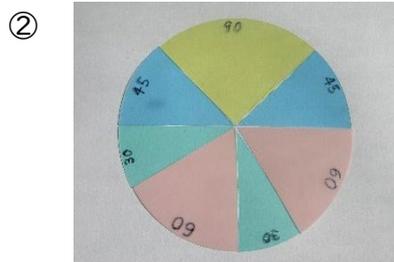
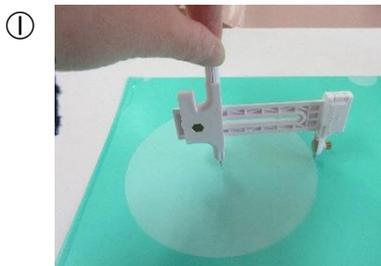
*何度でも剥がせるテープ糊を裏面に貼付することで固定され、ズレがなく測定しやすくなる。また、どんな姿勢でも操作を容易にする。

関連した学習：円や円に内接する正多角形の中心角を同一にして等分する課題では、その1つ分の中心角に同じ角度の教材を合わせることで、分数での表し方が理解しやすくなる。

【教材の作り方】

(材料) ・カラークリアファイル ・コンパスカッター ・細工用カッター ・分度器
 ・定規 ・油性ペン ・レジン ・テープ糊 (何度でも剥がせる)
 (すべて100円ショップで購入可能)

- (作り方) ①角度に応じてクリアファイルの色を選び、コンパスカッターで円を切り抜く。
 ②分度器を用いて、角度分を切り分ける。
 ③角度を油性ペンで書いた上にレジンで凸を出す。
 ④レジンが固まれば完成。



使用方法

